

インターメディアエーター講座

ー「あいだ」をめぐる知と方法ー



危機に直面する現代社会にあって、多様なアクターが連携して、いい結果を出すことは分野を超えたテーマになりました。

この時、たがいの違いを十分に認めながら、より創造的な workteam と ethical algorithm (倫理的な手順・方式) をつくりだすのが「インターメディアエーター (intermediator)」です。

その役割は、1) 多様性の中の対話を通じて〈協働の場〉をなんとかつくりだすこと、そして「人間と機械と自然の協働」を分母に、一方では、2) 状況や相手に応じた人間開発と人間回復を有効に進め、他方では、3) イノベーションとよばれる非連続変化を推進して、変化対応ではなく、未来先導を目指すことです。

インターメディアエーターは、リーダーとはまったく異なります。本プログラムは「リーダー不要論」から始まり、他にも、今までの既成概念とは正反対のことばかりを聞くことになると思います。連携も、協働も、対話も、創発も、場も、システムも、ネットワークも、どれも「あいだ」をめぐる知と方法 (うつしの美学) がなければ機能することはありません。

時代の停滞を打ち破り、次をつくる方々にご参加いただきたいと思っています。

プログラム	5/26 : 13:30 ~ 15:30 6/9, 6/28 : 10:00 ~ 17:00 (ランチをはさみます)
Intro	5/26 Fri.
§ 1 「インターメディアエーター」とは	前半 6/9 Fri.
§ 2 マインドセット (1) 3分法思考と多元的思考	
§ 3 マインドセット (2) 多様性・複雑性許容と対話能力	後半 6/28 Wed.
§ 4 マインドセット (3) エンゲイジメント能力と4つの 'active'	
§ 5 マインドセット (4) エンパシー能力とエンパワリング能力	後半 6/28 Wed.
§ 6 マインドセット (5) 物語り能力 (narrative competence)	
§ 7 CODA: ビジネスの「第3カーブ」へ	

リーダーこそが、指示待ち人間を再生産する

● LECTURER

設楽 剛 (Tsuyoshi Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表

慶應義塾大学 博士 [政策・メディア]

● 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科修了後、シンクタンクにて、ビジネス・フィロソフィーの変革を推進。LINE (株)の母体企業ハンゲームジャパン(株)の創設メンバー、初代チーフ・マーケティング・オフィサー (CMO) 兼 副社長を経て、設楽剛事務所を設立。今後の大きな方向と展望をイメージできるよう、新たなビジネス・パラダイム (ビジネスの観方・考え方) の導入・形成に取り組んでいる。Worldmaking, Intermediator, Narrative Competence を重視。

● 論文 (査読付) に、「物語ブランディングの政策効果」(政策情報学会)、「ブランディングにおける物語効果」(情報文化学会)。

● 公式サイト : archipelagos.jp



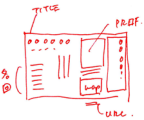
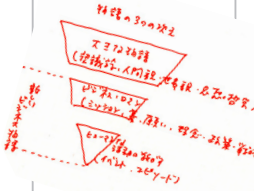
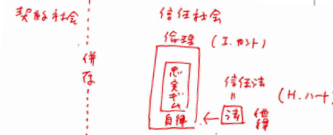
会場 公益財団法人 国際文化会館

106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

電話 : 03-3470-4611 URL : i-house.or.jp

● お問い合わせ・お申込み : ウェブよりご連絡ください

intermediator.jp/contact



もはや革新の物語を語るだけでは、不十分です。あらゆる物語の革新を、物語をもつて革新を。